

2019 年台風19 号（令和元年東日本台風）等 災害調査団報告書

Report of the Research Mission on Typhoon No.19 (Hagibis) 2019

—頻発する自然災害を知り、命を守る—



台風19号およびその後の令和元年10月25日～26日の豪雨では堤防の決壊などによる洪水、斜面災害などが広範囲にわたり多数発生した。

これらの災害に対して結成された、日本応用地質学会による災害調査団の調査結果をとりまとめた待望の報告書。

「本調査団では、降雨と地形・地質特性からみた斜面災害の発生状況、および地形変化と土地利用の歴史を加味した浸水災害の発生状況を記載し、それぞれ今後必要となる防災情報について検討した。調査の範囲は、発災直後の緊急調査では対象となりにくい地域や現象にまで及んでおり、調査成果には、一般の報道等から容易に窺うことのできない現地状況についての報告も含まれている。本報告書が今後の減災および防災の一助となれば幸いである。」

本報告書巻頭言からの抜粋

定 価：4,000円（税込み）
会員価格：3,000円（税込み）

A4判 オールカラー 264頁
ISBN 978-4-935157-07-3・C3051

お問い合わせ・ご注文先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-14 お茶の水桜井ビル7F
一般社団法人 日本応用地質学会 事務局
TEL：03-3259-8232 FAX：03-3259-8233 E-mail：office@jseg.or.jp

2019年台風19号（令和元年東日本台風）等災害調査団報告書 目 次



- I. はじめに
 - I-1. 巻頭言
 - I-2. 2019年台風19号等災害調査団名簿
 - I-3. 調査団のメンバーと経緯
- II. 災害の概要
 - II-1. 令和元年東日本台風（台風第19号）等の気象と被害
 - II-2. 衛星画像情報による災害状況
 - II-3. 降雨のパターンと被災履歴から見た被害の特徴
 - II-4. 地質の違いによる土砂災害の特徴
- III. 斜面災害の調査報告
 - III. 斜面災害の総括
 - III-1. 関東地方
 - III-1-1. 神奈川県箱根地区
 - III-1-2. 神奈川県相模原地区
 - III-1-3. 千葉県千葉地区
 - III-1-4. 千葉県佐倉地区
 - III-1-5. 埼玉県秩父地区
 - III-1-6. 群馬県南西部地区
 - III-1-7. 栃木県鹿沼地区
 - III-1-8. 茨城県
 - III-2. 東北地方
 - III-2-1. 宮城県丸森地区(1)
 - III-2-2. 宮城県丸森地区(2)
 - III-2-3. 宮城県丸森地区(3)
 - III-2-4. 宮城県丸森地区(4)
 - III-2-5. 宮城県丸森地区(5)
 - III-2-6. 岩手県三陸地区
 - III-2-7. 福島県いわき地区
- IV. 洪水災害の調査報告
 - IV. 洪水災害の総括
 - IV-1. 関東地方
 - IV-1-1. 荒川流域（都幾川・越辺川）
 - IV-1-2. 那珂川流域
 - IV-1-3. 久慈川流域
 - IV-1-4. 多摩川流域
 - IV-1-5. 利根川流域（渡良瀬川）
 - IV-1-6. 利根川流域（茂原・佐倉）
 - IV-2. 東北地方
 - IV-2-1. 阿武隈川流域
 - IV-2-2. 吉田川流域
 - IV-3. 中部地方
 - IV-3-1. 千曲川流域
- V. 住民の避難行動
 - V-1. 土砂災害からの住民避難行動
 - V-2. 洪水災害からの住民避難行動
- VI. 減災に向けた提案と課題
 - VI-1. ハザードマップ作成の経緯と現状の課題
 - VI-2. 土砂災害ハザードマップの課題と作り方
 - VI-3. 洪水ハザードマップの作り方と現状の課題
 - VI-4. 自然災害に係わる法制度と減災に向けた提案と課題
- VII. おわりに

注 文 書

2019年台風19号（令和元年東日本台風）等災害調査団報告書

定価：4,000円、会員価格：3,000円（価格は税込み、別途送料はご負担願います）

申込日： 令和 年 月 日

購入冊数： 冊

申込者名： 会員番号：

所属先名：

送付先住所： 自宅 勤務先（○で囲って下さい）

〒

電話： E-mail：

ご注文先：一般社団法人日本応用地質学会 FAX:03-3259-8233
E-mail: office@jseg.or.jp